



ソーシャルビジネスセミナーinもりおか

集合住宅コミュニティの再構築と ソーシャルビジネス

令和8年3月15日（日）13：30～15：30



基調講演 【13:35～14:45】



「みんなの居場所づくり～孤独孤立と向き合う時代において～」

公益財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団

代表理事 **宝楽 陸寛 氏**

1982年、大阪府河内長野市出身。高校1年生からまちづくり活動に携わり、ビジネスからボランティアまでNPOや市民の活動のコーディネーターとして主に南大阪で活動。対話型で居場所づくりを行う茶山台としょかん他、ニュータウンの協働で数多くのプロジェクトを手がけ事業化や、その仕組みの地域展開に取り組む。コミュニティ財団「公益財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団」を立ち上げ、現在、「温かいお金」が地域でまわる仕組みづくりを行っている。

事例紹介 【14:55～15:25】 ※詳細プロフィールは裏面参照

ココイロいわて

代表 **石塚 佳那子 氏**



閉園した釜石市甲子町の「こすもす公園」と農家レストランを受け継ぎ、新たな地域の交流拠点を運営中

TOFokU(とうふおく)

代表社員 **鬼束 拓哉 氏**



廃業した豆腐屋を事業承継。豆腐販売のほか、食堂オープン

会場:アイーナ6階 NPO活動交流センター団体活動室2 定員:40名

【主催】いわてソーシャルビジネスサポートネットワーク

【事務局】いわてNPO中間支援ネットワーク(NPO法人いわてNPOフォーラム21)

電話 090-4413-8271(月・水・金 9時～17時 mail:inf21.information@gmail.com)

氏名、連絡先を、令和8年3月10日(火)までに上記記載のEmailにてお申し込みください。

二次元コードからも申込みできます。

お電話も可。当日参加も可能です。



事例発表者のプロフィール

○石塚佳那子 氏

富山県出身。東京の人材派遣会社に3年間従事後、岩手県釜石市での復興ボランティア活動をきっかけに2015年に釜石市に移住。移住支援や就労支援事業を行った後、地域で閉店した農家レストランと子どもの遊び場「こすもす公園」を受け継ぎ再生するプロジェクトを発足した。2025年8月には「ココイロこすもすファーム」として再オープンし、自然・食・遊びを起点に子どもから大人まで楽しめる地域の交流拠点を目指し活動している。

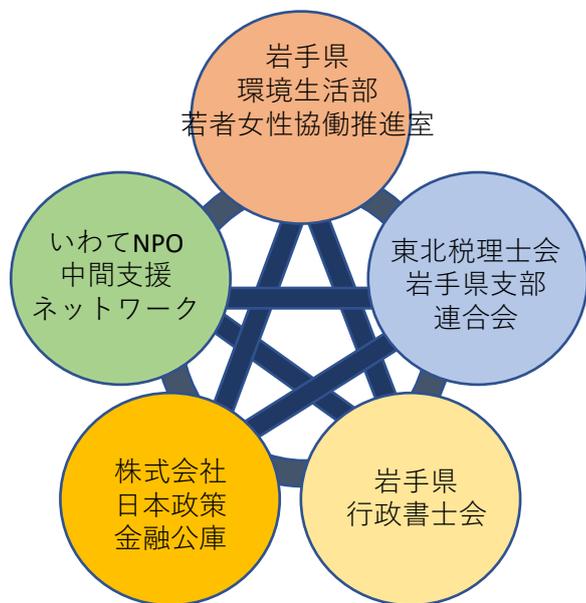
○鬼束拓哉 氏

宮崎県出身。以前はSEとして就業していたが、2015年1月に地域おこし協力隊として普代村に移住。退任後の2018年10月、高齢で廃業した豆腐屋を事業承継し、豆腐職人で生きていくことを決意。2024年4月には、道の駅青の国普代構内に『TOFOkU食堂』をオープン。とうめし定食の他、手作りがんも、豆腐唐揚げ、豆乳なども販売している。顧客は高齢者も多いことから、販売の傍ら見守りサービスを役場と連携して取り組んでいる。人生のモットー「我を無にし他の受け皿となる」を会社名に冠して、忘れないようにしている。

■ソーシャルビジネスセミナー開催の目的

地域課題の解決や地域経済の活性化を目指し、様々な活動に取り組むNPO等法人をはじめソーシャルビジネスの担い手支援を行うほか、理解促進を図るセミナーです。

■いわてソーシャルビジネスサポートネットワークとは



これまでの単独組織での各専門分野の支援から、各組織の強みを生かした包括的支援を提供。

社会的課題をビジネスを通して解決しようとするみなさんをバックアップします。

ぜひお気軽にご相談ください。

会場までのアクセス

【N活】岩手県NPO活動交流センター
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号
いわて県民情報交流センター「アイーナ」6F

